

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	DA463／社会問題の社会学 (Sociology of Social Problems)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	喪のある景色を読み解く		
担当者名 (Instructor)	高山 真(TAKAYAMA MAKOTO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	SOC3410	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

長崎原爆被災という問題をとおして、他者とは誰のことかを考える。

Through the issue of the atomic bombing of Nagasaki, we will consider who the others are.

授業の内容(Course Contents)

毎年、8月になると広島と長崎の原爆について多くのことが報道されます。その意味で、私たちはヒロシマ・ナガサキをよく知っています。しかし、その問題が、日常を生きる「わたし」に関わることは少ないかもしれません。いまを生きる私たちにとって、被爆者の語りを聞くことには、どのような意味があるのでしょうか。他者の語りを聞くということが、この授業のテーマになります。

Every year in August, a lot is reported about the atomic bombings of Hiroshima and Nagasaki. In that sense, we know a lot about Hiroshima and Nagasaki. However, the issue may not be relevant to "me" in our daily lives. What is the meaning of listening to the stories of hibakusha for those of us who live today? Listening to the stories of others will be the subject of this class.

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション
2. 自己
3. 記憶
4. 物語
5. 当事者
6. 経験
7. 死
8. 感情
9. 長崎
10. 写真
11. 映像
12. 言葉
13. 他者とは誰のことか？
14. 総括

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

参考文献として記載している『〈被爆者〉になる 変容する〈わたし〉のライフストーリー・インタビュー』を通読する。

成績評価方法・基準(Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(60%) / リアクションペーパー等(授業内課題)(40%)

テキスト(Textbooks)

1. 高山真、2016、『〈被爆者〉になる 変容する〈わたし〉のライフストーリー・インタビュー』、せりか書房 (ISBN:978-4-7967-0353-6)

適宜、資料を配布する。

参考文献(Readings)

1. 長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志、2007、『社会学』、有斐閣 (ISBN:978-4-641-05370-0)
2. 石田忠、1973、『反原爆 長崎被爆者の生活史』、未来社
3. ロバート・J. リフトン、2009、『ヒロシマを生き抜く 精神的考察』、岩波書店 (ISBN:9784006002268)
4. 高橋哲哉、1995、『記憶のエチカ 戦争・哲学・アウシュヴィッツ』、岩波書店 (ISBN:4-00-002751-4)
5. 浜日出夫(編著)、2021、『サバイバーの社会学: 喪のある景色を読み解く』、ミネルヴァ書房 (ISBN:9784623091898)
6. 福田須磨子、1968、『われなお生きてあり』、筑摩書房

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

社会学の知識は問いません。テーマに関心のある学生の履修を歓迎します。

注意事項(Notice)